

■ はじめに ■

西東京市は、平成 15 年（2003 年）11 月に「こころポリシティ西東京」と題する西東京市地域情報化基本計画を策定し、平成 20 年度（2008 年度）までの計画期間中に地域情報化のさまざまな施策を展開してきました。

計画の基本的な理念は、平成 13 年（2001 年）1 月に合併によって生まれた新しいまちであることを反映し、「新しいコミュニケーション」が生まれるためのきっかけづくりや、より多くの市民がふれあうための機会の創出をめざした、ICT を活用した「新しいかたちのコミュニケーション社会」の創出です。そして、目指すまちの姿を「こころポリシティ西東京」と名づけたものです。

ICT はこの 10 年で急速に普及し、私たちの生活の中に広く浸透してきています。総務省の「平成 19 年通信利用動向調査」によると、平成 19 年（2007 年）末のインターネット利用者の人口普及率は 69.0% と推計されています。また、東京都教育委員会が都内公立学校を対象に抽出して行った平成 20 年（2008 年）7 月の調査では、児童・生徒の携帯電話保有率が小学校では 38.4%、中学校 66.4%、高等学校 96.2% という結果が出ています。

ICT が広く浸透し活用されることにより、情報伝達手段が多様化し便利になった反面、個人を攻撃するようなメールや出会い系サイト、有害サイトの横行など、新たな問題が発生しています。

このたび、その計画期間が終了することにともない、平成 21 年度（2009 年度）からの新しい地域情報化基本計画を策定するにあたり、ICT を正しく利活用するとともに、その根底には人と人、こころとこころのふれあいがますます大切になっているとの認識に立ち、「こころポリシティ西東京」を目指すまちの姿を表現する言葉として引き継ぎ、地域情報化を推進していきます。

なお、本計画を策定するにあたり、ご審議いただいた西東京市地域情報化計画策定審議会の委員の皆様方をはじめ、貴重なご意見をいただいた市民の皆様、事務局の一員としてご尽力いただいた佐藤佳弘情報政策専門員（武蔵野大学大学院教授）に深く感謝申し上げます。

「こころポリシティ西東京」とは・・・

「こころの交流を大切にするまち 西東京」を意味する「こころ」「ポリシー」「シティ」を結合した造語で、地域情報化を推進することによって時間や場所、立場や世代にとらわれない新しいコミュニケーションやサービスが生まれ、ふれあいやすさにあふれた快適で暮らしやすい「新しいかたちのコミュニケーション社会」が創出されたまちを意味します。

「こころ」：人と人がふれあい、お互いの感情や考えを深く理解することを表現する言葉として用いる。
「ポリシー」：政策、方針、規則。ここでは「基本的な考え方」という意味で用いる。
「シティ」：「まち」という意味で用いる。

